

「企業理念」「安全憲章」

JR西日本の経営の基本は、福知山線列車事故を機に全社員でつくり上げた「企業理念」と「安全憲章」にあります。

「企業理念」「安全憲章」のもと、全社員が心をつにし、

安全を最優先する企業風土を構築するための努力を積み重ね、

お客様や株主をはじめ、当社を支えるあらゆる関係者の方々のご期待に応え、

将来にわたる持続的发展を図ってまいります。

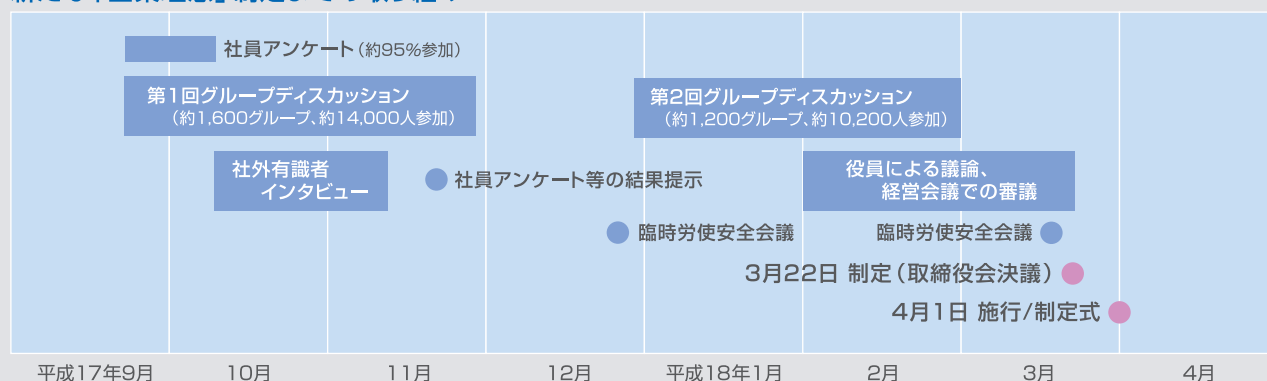
JR西日本 企業理念

1. 私たちは、お客様のかけがえない尊い命をお預かりしている責任を自覚し、安全第一を積み重ね、お客様から安心、信頼していただける鉄道を築き上げます。
2. 私たちは、鉄道事業を核に、お客様の暮らしをサポートし、将来にわたり持続的な発展を図ることにより、お客様、株主、社員とその家族の期待に応えます。
3. 私たちは、お客様との出会いを大切にし、お客様の視点で考え、お客様に満足いただける快適なサービスを提供します。
4. 私たちは、グループ会社とともに、日々の研鑽により技術・技能を高め、常に品質の向上を図ります。
5. 私たちは、相互に理解を深めるとともに、一人ひとりを尊重し、働きがいと誇りの持てる企業づくりを進めます。
6. 私たちは、法令の精神に則り、誠実かつ公正に行動するとともに、企業倫理の向上に努めることにより、地域、社会から信頼される企業となることを目指します。

「企業理念」は、JR西日本が目指す方向性、大切にしたい共通の価値観を示したものであり、福知山線列車事故を真摯に受け止め、新たなJR西日本を築き上げようとする、社員全員の決意をあらわすとともに、世の中の皆様に対する宣言でもあります。

「企業理念」の名称、そして各項目の冒頭にある「私たち」という言葉には、社員と役員が一体となってつくり上げたものであり、社員、役員、その総体である会社の全てが取り組みの主役であるとの思いを込めています。

新たな「企業理念」制定までの取り組み



安全憲章

私たちは、2005年4月25日に発生させた列車事故を決して忘れず、お客様のかけがえない尊い命をお預かりしている責任を自覚し、安全の確保こそ最大の使命であるとの決意のもと、安全憲章を定めます。

- 1.安全の確保は、規程の理解と遵守、執務の厳正および技術・技能の向上にはじまり、不斷の努力によって築きあげられる。
- 2.安全の確保に最も大切な行動は、基本動作の実行、確認の励行および連絡の徹底である。
- 3.安全の確保のためには、組織や職責をこえて一致協力しなければならない。
- 4.判断に迷ったときは、最も安全と認められる行動をとらなければならない。
- 5.事故が発生した場合には、併発事故の阻止とお客様の救護がすべてに優先する。

「安全憲章」は、「企業理念」第一項に掲げた安全に関する具体的行動指針であり、JR西日本の一人ひとりが安全の担い手であることを自覚し、日常の場において、安全を最優先するという価値観に基づく行動が自然に出るよう定めたものです。前文では、福知山線列車事故を深く胸に刻み込むことを明確に表現し、このような事故を起こさないとの決意を盛り込んでいます。

当社は、会社発足直後の昭和62年7月、全社員が参加し、会社のあるべき姿、全社員で共有すべき価値観を示した「経営理念」を制定、それ以来、この理念のもとで全社一丸となって様々な取り組みを進めてきました。しかしながら、平成17年4月25日の福知山線列車事故を機に、安全を最優先する企業風土を構築するため、当社の憲法ともいえるこの「経営理念」を見直すこととし、会社発足20年目を迎える中、当社のめざすべき方向性、価値観について、改めて全社員で議論を重ねるとともに、社外のような分野の有識者の方々の意見も伺い、平成18年3月に新たな「企業理念」を制定しました。

あわせて、安全に関する具体的行動指針である「安全憲章」についても、事故を決して忘れることなく、最大の使命である安全の確保に向けて、社員一人ひとりが具体的行動を起こせるよう見直しを行い、新たな「安全憲章」を制定しました。

取り組みをスタートする平成18年4月1日、全現場長を社員研修センターに集め、制定式を行いました。社長から「企業理念」「安全憲章」に込めた思いを直接語りかけ、全員で思いを共有し、職場での実践に努めてきています。



「企業理念」「安全憲章」制定式

「企業理念」「安全憲章」の具現化と実践

「企業理念」「安全憲章」は、日々の企業活動や社員一人ひとりの取り組みの中で具現化、実践していくものです。そのため、各職場にポスターを掲示するとともに、一人ひとりがカードを携帯し、「企業理念」「安全憲章」に照らして自らの行動を振り返るきっかけとしています。

特に行動指針である「安全憲章」については、日常の場で自然に行動に出ることが大切であり、各職場で日々唱和するとともに、具現化に向けた様々な取り組みを進めています。

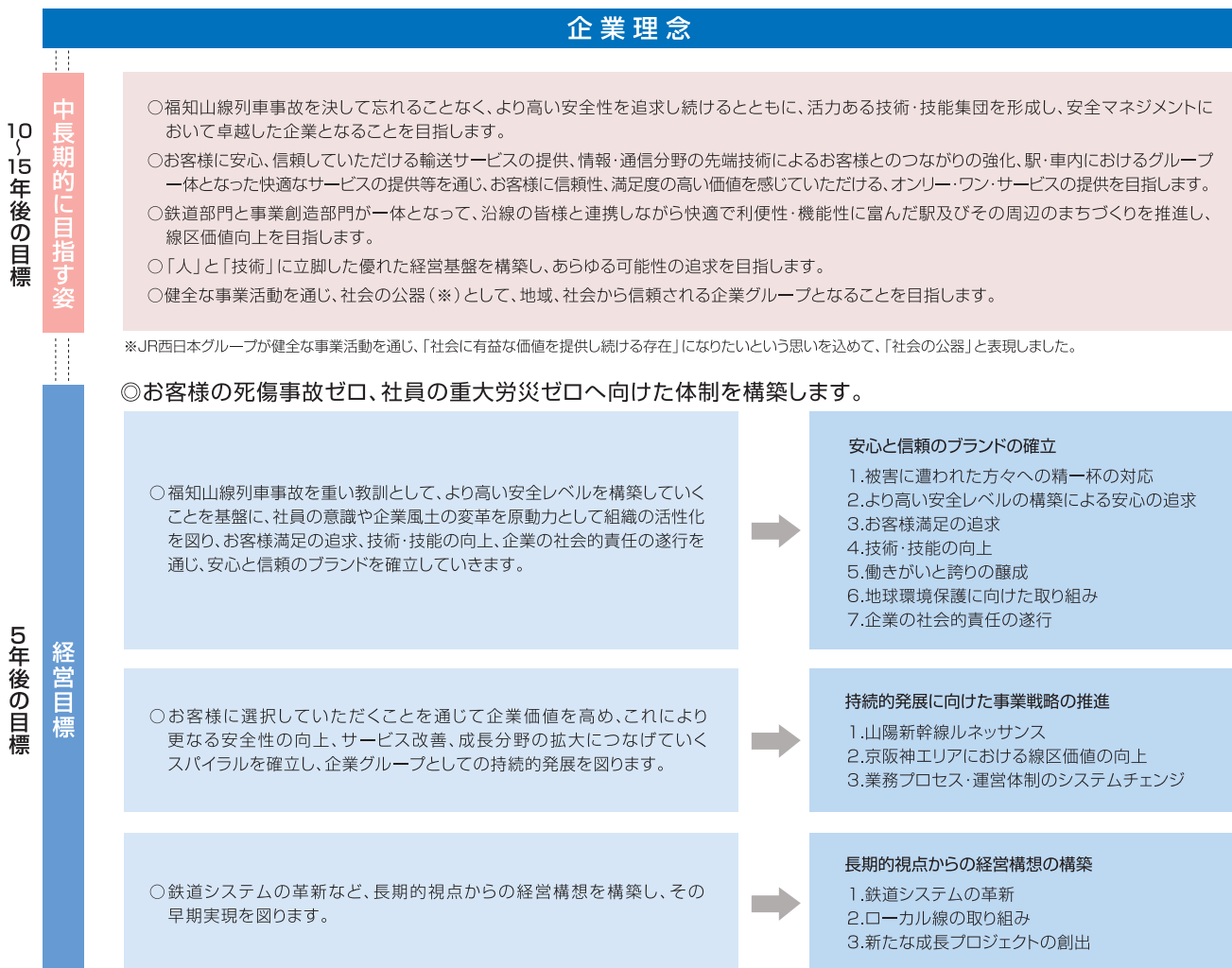
（「安全憲章」具現化の取り組みはP19をご覧ください）



平成20年7月、「企業理念」「安全憲章」に込めた思いを改めて社員全員で共有しようと本社ビル1階エレベーターホールへの掲出を行いました。

JR西日本グループ中期経営計画2008-2012

平成20年5月、「企業理念」を実現するという経営の原点に立ち返り、実現に向けた中長期戦略を示した「JR西日本グループ中期経営計画2008-2012」を策定しました。この計画を着実に実行することで、さらなる安全性向上、皆様からの信頼回復、そしてこれらを基盤とした将来にわたる持続的発展を図っていきます。（全文はホームページをご覧ください）



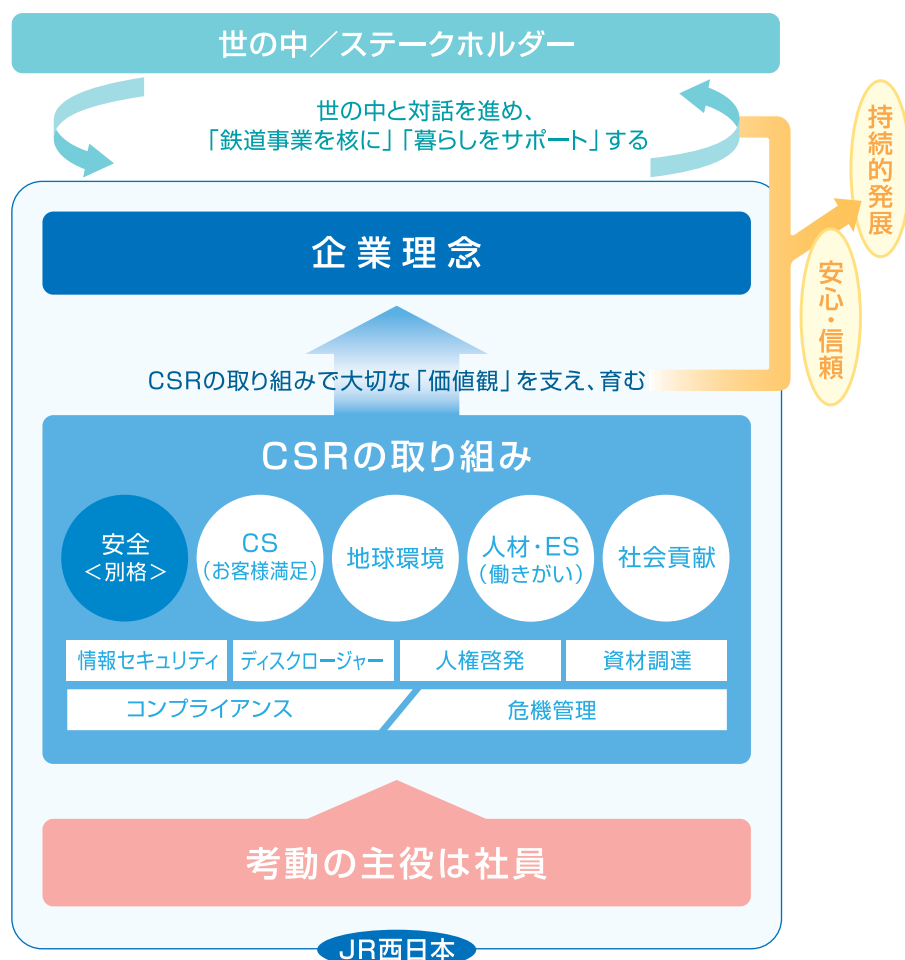
CSR (企業の社会的責任) の考え方

JR西日本のCSRの基本的な考え方

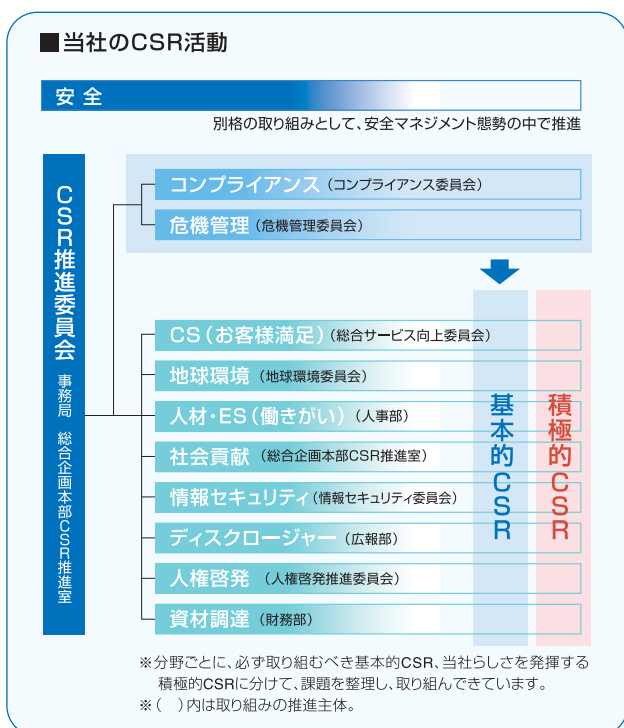
JR西日本のCSRは、「企業理念」を実現していくことです。

普遍的な存在である「企業理念」に掲げた大切な価値観を支え、育んでいくため、当社では、世の中の要請に照らして、最大の責任である「安全」に加え、「CS (お客様満足)」「地球環境」「人材・ES (働きがい)」「社会貢献」(以上、当社らしさを発揮する分野)、「コンプライアンス」「危機管理」「情報セキュリティ」「ディスクロージャー」「人権啓発」「資材調達」(以上、活動の基盤となる分野)をCSRの重点分野に定めています。世の中と誠実に向き合い、関係者の皆様と積極的に対話を進めながら、CSRの観点に立って事業活動そのものの質を高めていくことで、世の中のご期待に応え、「安心、信頼」を築き、ともに「持続的な発展」を図っていきたくと考えています。

CSR推進のフレームワーク



当社のCSR活動



推進体制

上記のCSR経営を積極的に推進するため、当社は平成18年6月、社長を委員長とし、常勤取締役、常勤監査役、本社内関係部門長で構成するCSR推進委員会を設置するとともに、事務局として総合企画本部にCSR推進室を設置しました。各分野については、従来から分野毎に委員会又は担当部署のもとで取り組みを進めてきていますが、経営課題としてのCSRの一層の推進を図るため、別格の取り組みである「安全」を除く10分野について、CSR推進委員会でCSRの観点から包括的に検証、必要な改善を図っていくこととしています。(安全マネジメント態勢については、P16をご覧ください)

平成18、19年度は、それぞれ4回の委員会を開催し、まずは本社役員の間で当社のCSRの考え方、各分野の基本方針・中期の到達目標・年度の重点取り組み計画を整理、共有しました。今回、報告書の作成を通じて取り組みの全体像を明らかにし、組織として取り組みに一層の広がりや深みをもたせていきたいと考えています。